



コンサルテ瀬田便り



チェアアライズ導入を決定

平成19年の施設の経営状況や活動状況を入居者様の代表とご家族の代表委員にご報告する、恒例のコンサルテ瀬田運営懇談会が、12月2日(日)午後2時から、ロイヤルオークホテル2階会議室で開催されました。

開会挨拶に立った堀社長は、本年度も大過なく推移することができたことは、入居者様及びご家族の理解と協力の賜物と、感謝の言葉を述べるとともに、来年度も安楽・安全な介護サービスをめざし従業員ともども努力する決意を述べました。

今年度の経営状況については、高橋施設長から昨年実績と比較して具体的数字をあげて説明。公共料金の相次ぐ引上げがあったにもかかわらず、堅実な収支を維持できたのは、入居者様・ご家族のご理解を得て、保険外サービス料金の見直しによる応分の受益者負担のお陰であることを報告し、来年度も安楽・快適・安全を重視したコンフォート・ケアを実現する方針を明らかにし、ご出席の皆様の賛同をいただきました。そのケアの実現の一助に来年一月には椅子に座ったままの状態、より快適に入浴できる最新型特殊浴槽二台の導入を行うこと、その導入資金は今年度の収益から入居者様に還元する旨をご報告、了承を得ました。

その後、サービスの現状について出席者の皆さんから多数の有益なご意見を賜りました。また、フリートークでは、将来の高齢化の一層の進展に伴い、コンサルテ瀬田の介護及び看護サービスの体系的な見直し、とくに全国的にも課題になりつつあるいわゆる「終末期」のケアについての広範な議論が必要ではないかとの鋭いご指摘があり、所定の終了時刻を延長する討論が行われ盛会裏に終了いたしました。

レベルの高い演奏を堪能

最近、地域のボランティアの方や、入居者様ご家族のご協力により、素晴らしい音楽に接する機会が多くなりました。今月号で、その一端をご紹介します。

11 月 18 日（日）に「草津ハーモニカクラブ」の皆さんで、今回で 5 度目の来館になります。代表田中伸芳さん他 4 名様が、入居者様のリクエストに応じて次々に演奏され、とくに人気の「千の風になって」は大好評でした。



次いで 25 日（日）には、入居者様ご家族の押山晶子さんのピアノとご友人の笠置陽子さんのフルートのコラボレーションが行われました。お二人とも名古屋大学音楽学部楽器科を卒業後、現在、東海地方中心にテレビやステージで活躍されています。当日の演奏は、シャンソンやポピュラーのスタンダード曲が中心でした。最後にはお二人の伴奏で「ふるさと」を全員で斉唱しました。



月があらたまって 12 月 1 日（日）には、中村真里さんを含む七名の「こんこ舎」というグループの、二胡の演奏会が行われました。二胡は中国の古い弦楽器で、一部に錦蛇の革を要するため現在、作成も非常に困難な伝統の楽器です。糸を引くような独特の澄んだ優しい二胡の音色に、多くの方が目を閉じて聞き入っておられたのが印象的でした。曲目は戦前からの懐かしい「蘇州夜曲」「埴生の宿」などの歌曲が多く、アンコールは琵琶湖周航の歌でした。



草津ハーモニカクラブ



ピアノとフルートの合奏



「こんこ舎」の二胡の演奏

皆が楽しみました一日バス旅行

恒例の一日バス旅行が 11 月 29 日 (木)、行き先は神戸の花鳥園で行われました。花鳥園は神戸港のポートアイランドにあり、満開の花の中で鳥たちと自由に遊べる屋内型のアミューズメントパークです。

参加された皆さんは「きれいな花がいっぱいだった。」「満開の花の下で食べた食事はほんとに美味しかった。」と、ご家族との久しぶりの外出に喜びも一入りのようでした。今回も地域のボランティアグループの懇切な協力のおかげで、楽しく一日が過ごせました。当日の楽しかった情景を写真でご紹介します。



花鳥園ドーム内で二班に分かれて記念の集合写真、後は満開の花のカーテン



美味しい料理に笑顔もこぼれます。



フクロウは人が近付いても落ち着いています。

新入職員の紹介

11 月 21 日から勤務の新入職員
を紹介します。



看護師 土居 由樹子

<編集後記>

今年も暮れようとしている。一年間を振り返ってみて、計画通りほぼ目的が達成されたという仕事は稀である。まず、給食業者の入れ替えであるが、入れ替えまでは比較的スムーズに進んだが、入れ替え後、当然といえば当然であるが、多くの問題が噴出してきた。

その都度、給食委員会と業者の折衝で解決できているが、依然残されているのは、極めて普通の意味での「美味しいご飯」といったメニューが出来ていない。出来たときと出来ていないときの差が大きいのである。

原因はいろいろ考えられるが、いわゆるカロリー計算と栄養のバランスに、自由な調理人の発想が抑制されてしまうのではないかと。朝食にカロリーが偏れば昼あるいは夜で調節するため、その結果みすばらしいことになるという具合である。何はともあれ給食委員と業者とのパイプを詰まらせないようにしたいものだ。

次に特殊浴槽<チェアーインバス>の導入がある。新設工事ではないので、設置工事自体にあれやこれやの付帯工事が必要になり、それが意外な費用を要するので、費用の見積もりにギリギリの努力が求められた。

それにしても、ついに起きるべき事態が起きてしまったという感を深くしたのは、大阪堺市の某病院の職員が全盲患者を西成の公園に遺棄した事件であった。原因は医療費の滞納というが、身内も引き取ることを拒否したという衝撃的な事件であった。医療荒廃というより人心の荒廃、まさに末法の世の到来かと背筋が凍りつく昨今ではある。(k 記)

ご注意とお願い

- ① インフルエンザの流行が予想されます。入居者の皆様には予防接種につとめて頂き、例年の予防措置が講じられましたが、外部からの感染を防がなければ効果がありません。ご家族のご来訪の折には、受付での手の消毒とご入室前のうがいなどにご協力ください。
- ② 介護保険はじめ国民保険などの変更事項があった場合は、必ず近日中に事務所までご連絡ください。
- ③ 年末・年始にかけて、職員たちへのお心づけは何によらず、お控えくださいますようお願い申し上げます。職員にも、施設の存立理念に相応しくない行為として、この種のものを受け取ることをないよう厳しく指導しておりますので、何卒、ご理解くださるようお願いいたします。